

## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 ビリングシステム株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3623 URL https://www.billingsystem.co.jp  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江田 敏彦  
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷川 毅 (TEL) 03-5501-4400  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	995	16.7	144	43.4	144	43.6	94	46.7
2023年12月期第1四半期	853	7.1	100	△27.0	100	△27.2	64	△28.3

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 99百万円(45.4%) 2023年12月期第1四半期 68百万円(△26.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	15.06	—
2023年12月期第1四半期	10.26	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	21,399	2,631	11.8
2023年12月期	21,291	2,613	11.7

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 2,520百万円 2023年12月期 2,501百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,955	4.6	489	5.1	489	5.5	303	1.0	48.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	6,564,400株	2023年12月期	6,564,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	274,982株	2023年12月期	274,982株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	6,289,418株	2023年12月期 1 Q	6,289,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復の動きがみられました。一方、国際情勢悪化の長期化に伴うエネルギー価格の高止まりや円安進行に伴う物価の上昇、世界的な金融引締めなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する決済市場においては、政府が主導するキャッシュレス決済の普及促進や、コロナ禍によるキャッシュレス決済の浸透、また人手不足による省力化の必要性から事業者側のキャッシュレス導入も一層進んでおり、支払手段におけるキャッシュレス化は年々増加傾向にあります。経済産業省が2024年3月に公表した「2023年度のキャッシュレス決済比率」においても、キャッシュレス決済比率は39.3%、決済額は126.7兆円となり2025年6月までにキャッシュレス決済比率を40%程度にするという政府目標も達成目前となり、将来的には80%という目標に向け、今後も継続的な市場の成長が見込まれております。

このような状況の下、当社グループは、クイック入金サービスや公共料金支払い代行サービスなど既存サービスの着実な運営を推進すると共に、スマホ決済サービスPayBやキャッシュレス決済端末事業の拡大に向け取組んでまいりました。

スマホ決済サービスPayBは、ゆうちょ銀行やメガバンク、全国の農協、地方銀行等、多数の金融機関において利用可能となっており、また利用可能な払込票発行機関（加盟店）は民間収納企業、地方公共団体合わせ16,767社・団体まで広がっております。特に地方公共団体については、地方税統一QRコード（eL-QR）制度にも対応したことから、全ての地方公共団体が発行するeL-QRが印刷されている納付書での地方税納付が可能となっております。

PayBでは、昨年からの国民年金保険料や固定資産税・自動車税など地方税の支払いをクレジットカード及び金融機関の預貯金口座から即時納付できるサービスの提供を開始し、「PayB」アプリの機能改善、サービス全体の利便性向上を図っております。

その他、株式会社ふくおかフィナンシャルグループのグループ銀行である福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行（以下、「FFG三銀行」）のATMに「PayB」機能を組み込み、ATMに搭載されたマルチリーダーを活用して、コンビニ等払込票のバーコードを読み取り、FFG三銀行のキャッシュカード、通帳または現金での支払い手続きが可能となるサービスの提供を開始しております。本サービスは銀行にとっては窓口収納業務の事務負担軽減につながる全国初の取り組みであり、利用者及び金融機関双方の利便性、業務効率化に資するサービスとなりますので、ATM製造メーカー等とも連携し、その他の金融機関向けに横展開を推進していく方針であります。

次に、大学等の教育業種向けの学費収納管理業務効率化ソリューションである「学費収納管理システム」については、従来の「PayB for Campus」による支払手段に加え、主にアジア圏を中心とする外国人留学生向けに「WechatPay」及び「Alipay+」による決済機能を追加し、現在全国の大学に向けて提案、推進しております。

スマホマルチ決済サービスの「WechatPay」や「Alipay+」につきましては、訪日中国人数はコロナ前の水準に回復していないものの、円安の影響等により訪日外国人数は、3月単月で300万人を超え過去最高を更新するなど、全体のインバウンド需要が回復したことに伴い、売上高は計画を上回って推移しております。

キャッシュレス決済端末の販売については、飲料自販機での販売と共に、駐車場やコインランドリー等への新機能の開発や運営ソリューションの構築を引き続き進めております。端末販売は、駐車場やJR東日本が駅構内に設置する多機能ロッカー「マルチエキュープ」への導入が進んだため販売台数が計画を上回り、また利益率の高い受託開発案件等も、ほぼ計画どおりの進捗となったため、キャッシュレス決済端末事業は、売上・利益ともに計画を上回って推移しております。

既存サービスにつきましては、クイック入金サービスは、円安が続いていることや日経平均株価が過去最高を更新するなど、株価・為替相場の変動が大きかったことから、取扱件数が計画を上回り堅調に推移しております。また、収納代行サービスの売上も取扱件数が当初の見込みを上回って推移したため、計画比で増収となっております。その他のサービスも概ね、期初計画を上回り、順調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高995,601千円（前年同四半期売上高853,221千円）、営業利益144,745千円（前年同四半期営業利益100,937千円）、経常利益144,211千円（前年同四半期経常利益100,425千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益94,703千円（前年同親会社株主に帰属する四半期純利益64,541千円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は21,399,386千円(前連結会計年度末21,291,573千円)となり107,813千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金87,026千円の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は18,767,748千円(前連結会計年度末18,677,989千円)となり89,759千円増加いたしました。その主な要因は、短期借入金465,000千円の増加、未払法人税等28,414千円の減少及び預り金361,389千円の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は2,631,637千円(前連結会計年度末2,613,584千円)となり18,053千円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益94,703千円を計上したこと及び剰余金の配当75,473千円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回予想(2024年2月14日発表)からの変更はありません。なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,576,623	19,663,650
売掛金	376,538	361,733
商品	89,110	70,459
仕掛品	1,667	555
その他	856,054	928,226
流動資産合計	20,899,993	21,024,625
固定資産		
有形固定資産	119,360	114,426
無形固定資産	113,091	111,706
投資その他の資産	159,128	148,627
固定資産合計	391,580	374,760
資産合計	21,291,573	21,399,386
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	203,145	201,553
短期借入金	-	465,000
未払法人税等	70,892	42,478
預り金	18,133,914	17,772,524
賞与引当金	-	27,299
その他	193,846	191,772
流動負債合計	18,601,799	18,700,629
固定負債		
その他	76,189	67,119
固定負債合計	76,189	67,119
負債合計	18,677,989	18,767,748
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,237,988	1,237,988
資本剰余金	83,900	83,900
利益剰余金	1,328,097	1,347,328
自己株式	△148,891	△148,891
株主資本合計	2,501,095	2,520,325
非支配株主持分	112,488	111,312
純資産合計	2,613,584	2,631,637
負債純資産合計	21,291,573	21,399,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	853,221	995,601
売上原価	545,991	627,744
売上総利益	307,229	367,857
販売費及び一般管理費	206,292	223,111
営業利益	100,937	144,745
営業外収益		
受取利息	18	23
受取手数料	60	60
為替差益	-	0
その他	12	15
営業外収益合計	90	99
営業外費用		
支払利息	227	634
為替差損	374	-
営業外費用合計	602	634
経常利益	100,425	144,211
税金等調整前四半期純利益	100,425	144,211
法人税、住民税及び事業税	18,560	37,737
法人税等調整額	13,771	7,446
法人税等合計	32,332	45,184
四半期純利益	68,093	99,026
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,551	4,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	64,541	94,703

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	68,093	99,026
四半期包括利益	68,093	99,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,541	94,703
非支配株主に係る四半期包括利益	3,551	4,323



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

「決済支援事業」以外の事業の重要性が乏しいため、記載を省略しております。